

## 明世学区青少年育成町民会議「中学生と語る会」を開催

瑞浪市青少年育成市民会議総会の中で、青少年活動モデル地区の明世学区青少年育成町民会議に実践発表をしていただくことになっていましたが、残念ながら発表の機会を失ってしまいましたので、活動の一端を紹介いたします。

……………  
令和3年12月12日(日)に、瑞浪北中学校区のまちづくり推進協議会5地区の共同開催による「中学生と語る会」を、瑞浪北中学校で開催しました。



今回は、明世地区が担当として、今年度から新しく取り組んでいます「ホテルの育成事業」の紹介と、明世町の奥村 了氏を講師に迎え「ホテルの勉強会」を行いました。

瑞浪北中学校から28名もの生徒の参加があり、全員が講義を真剣に聞き入り、ホテルの発光実験では、各グループから発光する場面を見て感動の声が聞こえてきました。

ホテルを通してのまちづくりを進めていく事の意味と大切さを再認識できました。(推進員: 旗 秀樹)

### 1 年間の活動を振り返って

岐阜県青少年育成推進指導員 三輪 武彦

瑞浪市民の皆様には、日頃より青少年育成活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

令和3年度も、瑞浪市青少年育成のスローガン「みとめて ほめて はげまして」のもと、各地・各場所で、青少年育成市民会議のみなさんと活動をしてきましたが、残念ながらコロナの影響で多くの事業が中止や規模を縮小しての開催となりました。

そんな中、瑞浪市主張大会は感染対策をした上で6月13日(日)に2年ぶりに瑞浪市総合文化センターのホールに観客を入れて開催できたことはとても良かったと思います。令和2年度は学校ごとにビデオを提出してもらい、関係者だけでビデオを見て審査をしましたが、今回は人数の制限はあったものの舞台上での発表を行うことができました。小学校から7名、中学校からは3名、そして市内の高校からは2名の方が学校の代表として発表され、私は審査員の一人として聞かせていただきました。舞台に立った発表者の表情からは緊張感が感じられましたが、自分の思いや考え方を堂々と力強く発表されました。また、司会進行や審査補助など大会運営に高校生の皆さんに積極的に協力をしていただきました。

11月には各地区で啓発グッズの配布をすることで、全国強調月間の街頭啓発活動を皆さんに知って頂きました。その時にも、青少年育成推進員の方々とともに市内3校の高校生の皆さんに協力して頂きました。

計画していた事業の多くが中止となり、思うような活動ができませんでしたが、令和4年度以降は本来の活動ができるよう願っています。

#### 令和4年度 主な年間行事(予定)

- ・5月15日(日) 第1回青少年育成市民会議総会
- ・6月12日(日) 瑞浪市主張大会
- ・10月1日(土) 高校生と語る会
- ・2月4日(土) 第2回青少年育成市民会議総会

